

令和3年5月17日
作成者 塩崎・藤田

ダウン症児の保護者支援について

令和3年5月1日(土)に袋井の月見の里学遊館でダウン症児のお母さんたちのお話を聞く語り合いの和をみんなのぽっけ主催で開かせて頂きました。

ダウン症児の療育、相談窓口、習い事などの情報が少なく困っている。とお母さん達から相談があったのがきっかけで開催いたしました。ダウン症児を育てた先輩母さんたちや、障がいのある方々の支援をしている社会福祉法人の理事長さん、県議会議員、市議会議員、みんなぽけスタッフと当事者のお母さんたちとで意見交換、情報提供などを行いました。

県議会議員 伊藤和子さんからは、静岡県 健康福祉部障害者支援局障害福祉課が発行した「身体障害者福祉のしおり」、「知的障害者福祉のしおり」の資料を頂きました。(資料には、障害者総合支援法、地域生活支援事業、ライフサポート事業などさまざまな情報が掲載されています。) 県議からは、袋井市のみでは難しいことでも、市町村を超えて広域での連携を更に進めていく必要についてお話いただきました。

社会福祉法人なごみ風 代表 大場保治さんからは、習い事など色々な情報を頂きました。(なごみ風は、障がいがある方が個人の尊厳を保持しつつ、自立した地域生活を営むことができるよう支援している社会福祉法人)

当事者のお母さんたちも今回の話し合いを通じて、自分たちでできることを探してやっていきたいと動きだすきっかけになったようで、今回開催した意義を強く感じることとなりました。

今後もお母さん達との話合いと情報発信を続けていきたいと思えます。

また、みんなのぽっけでは子育てに関する、不安、未来をもっと面白くするアイデアなど袋井市の子育て環境をよりよくするために、気軽にお話しする場【気軽に子育て・おしゃべりサロン】を2か月に1度開催しています。毎回はじめの方もおたくさん参加してくれています。

子育て中のお母さん、お父さん、ご家族、行政職員、企業、議員、NPO 団体の方、様々な立場の方がご参加してくれています。繋がることから始まる未来！！ぜひ、ご参加お待ちしております。